

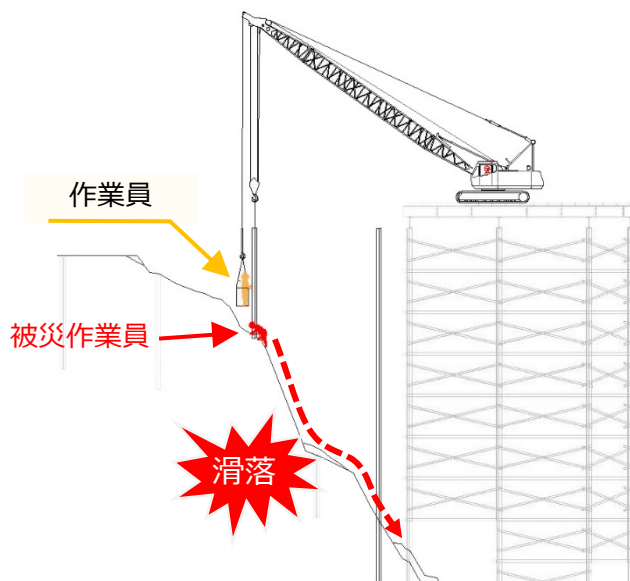
高所作業時での墜落制止用器具の使用は適切ですか！？

～高所からの墜落事故は死亡事故になる恐れがあります～

建設業における労働災害死亡原因は「墜落・転落」が最も多く、例年40%前後を占めています。高所からの墜落事故は致命傷を負うという意識をもって事故防止に取り組みましょう。



事事故例 滑落防止措置を講じず、事故発生



【事故概要】

仮橋撤去のため作業員が仮橋の支持杭を切断していた際、法面を滑落したものの。

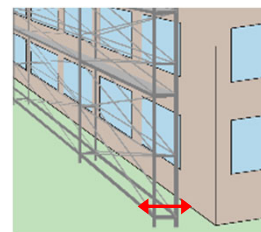
【主な要因】

- ① 墜落制止用器具を使用させる等の墜落防止措置を講じるよう、関係請負人や労働者に対し十分な指導を行っていなかった。
- ② 墜落制止用器具を使用させる等の墜落防止措置を講じていなかった。



○ 高さが2m以上の箇所（斜面等）で作業床を設けることが困難な場合は、**墜落制止用器具を適切に使用させるなど労働者の危険を防止するための措置を講じましょう。**

○ **令和6年4月より、足場からの墜落事故を防止するため、幅1m以上の箇所で足場を使用するときは、本足場の使用が義務化されます。**適切に対処しましょう。



詳しくは、あんぜん令和5年9月号（第349号）をご覧ください



近畿地区建設工事安全対策推進協議会の 合同安全パトロールを行いました

近畿地区建設工事安全対策推進協議会※（舗装部会）において、令和5年11月24日にトンネル舗装工事の現場にて合同安全パトロールを実施しました。当日の指摘事項と改善策等を紹介しますので、各現場においても安全点検の参考にしてください。

※現場における事故の実態並びに安全管理上の問題点を明らかにし、これに対応した具体策の検討を行うため、国土交通省と工事を施工する建設業界とが直接、意見交換をする場として「近畿地区建設工事安全対策推進協議会」が設けられています。本合同安全パトロールは、（一社）日本道路建設業協会関西支部と近畿地方整備局が合同で行いました。

改善例① 環境改善

排気ガスや粉塵で坑道環境が良くない

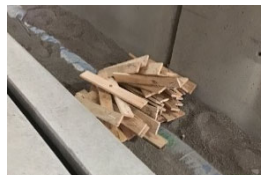
ジェットファンを設置しました



改善例② 整理整頓

木片（釘付き型枠）が乱雑に置かれている

保管箱に入れるようにしました



好事例① 非常時の避難誘導

坑内に非常灯を設置している

100mおきに設置した緑色灯は電源喪失後30分点灯し続け、非常時の避難誘導に役立ちます



粉じんのある坑内など、過酷な環境に防災設備を設置する場合には、防水・防塵加工が施された器具を選定するよるにしましょう。

好事例② 粉塵対策

車両による粉塵対策をしている

粉塵対策として、仮設通路散水システムで路面散水を行っています



建設業年度末労働災害防止強調月間 令和6年3月1日～31日

主唱：建設業労働災害防止協会 後援：厚生労働省、国土交通省

年度末は様々な作業が錯綜する時期です。あせらず、着実な作業を心がけましょう